

2016年度（平成28年度）事業

- ① 当機構は、熊本県上天草市「複合型スポーツ＆ヘルスツーリズム」計画づくりに参加。本計画は、自治体の中で別々に進めていた観光・福祉事業のプログラムを一体化して、人々の健康づくり寄与する計画です。（企画書ご参照）
- ② 互助会保証（株）の「菜園事業研究会」事務局事業を受託
互助会の会員様と、自治体が進める健康・福祉事業（菜園事業）を結ぶのが事業目的です。

2016 年度事業報告

災害対策「簡便食・保存食」試食会を開催

開催の趣旨

阿蘇市は水害、地震、火山噴火など連続する災害に見舞われています。日常の食卓で美味しく食べている簡便食（乾燥惣菜・レトルト食など）が阿蘇の災害時に、どのように役立つかをお知らせするのが今回の「簡便食・保存食」試食会開催の趣旨です。

日常も、災害時にも、変わらぬ美味しい簡便食

日本は日頃から家庭の食卓、ピクニック、旅行などで活用している乾燥惣菜、FD食品、（米飯・麺など）、缶詰、レトルトなど多くの「イノベーション簡便食・保存食」の食品があり、どれも世界に誇るものばかりです。今回の「試食会」では、このような簡便食・保存食品の食べ方を皆様へご紹介して、日頃から災害時に備えていただきたいと考え、企画しました。

提 案

○各地域の＜道の駅＞は、人・車が行き交う「交流拠点」であり、同時に災害時の「救済拠点」です。

○この視点から民間活力開発機構は、今回の阿蘇市＜道の駅 波野・阿蘇＞で開催する「簡便食・保存食の試食会」に九州各地の＜道の駅＞が参加され、簡便食・保存食を日常的な販売食品として扱い、日常・災害時にご協力頂きたいと考えます。

○12月8日（木）の試食会后、地元の農産物を活用した簡便食・保存食品の商品化計画「地産地消事業」のご検討を行って頂きたい。

事業展開計画

- 主催** 阿蘇市 // 阿蘇市「健康づくりの郷」事業推進委員会
- 後援** 一般社団法人 民間活力開発機構
まちづくりイノベーション事業交流会（協賛社で構成）
- 会場** 道の駅「波野」 // 道の駅「阿蘇」
- 実施日** 2016年12月8日（木曜日）

道の駅「波野・阿蘇」へ依頼

- 会場のご提供
- お客様のご案内（客数確保）
- 試食会のご協力（試食準備）

企業各社へ協力依頼

- 各社別に、300人分（20g×300人）の試食用保存食品と、展示用として実製品2～3個程度のご準備。
- 事業参加費（事業推進・普及活動費に充当）
 - *参加決定後、保存食の送り先と日時、当日のスケジュール、事業参加費のお振込先などの連絡。

民間活力開発機構の役割

- 事業推進（官・学・産、事業連携推進）
- 講師依頼（学識経験者、専門家から選出）
- 普及活動 minkatsu.or.jp で事業内容を全国に発信)
 - *特に九州・沖縄地域の「道の駅」にプロモート
- 報道関係社へ情報提供

2016 年度事業報告

互助会「菜園事業研究会」事業を受託

互助会保証株式会社は、互助会 会員様の開発事業の一つとして「菜園事業」の研究を行うご趣旨から、一般社団法人 民間活力開発機構（略称：民活機構）へ「菜園事業研究会事務局」事業の委託を頂きました。

当機構は 1987 年（昭和 62 年）に創設されて以来今年に至るまで、主に自治体のまちづくりへ、官（自治体）・学（大学）産（企業）連携の民活支援事業を進めてきました。

今回の委託事業は、民活機構のこのような事業実績から、互助会の会員様と自治体の「健康福祉・健康産業振興事業」を結ぶ事業の企画立案が必要と考えました。

民活機構は、この考えに立って、「菜園事業研究会」の事務局を務めさせて頂きました。

研究課題

当機構は、まちづくり事業企画立案の実績をベースに、「互助会 会員向けの新規事業」と「自治体の公益事業」との合意点を研究させて頂き、継続的な事業を提案致します。

研究地の選択

今回の「市民農園」事業研究地は、高齢者の福祉事業を多角的に取り組んでいる大都市近郊地としました。

高齢者は、事業地に医療機関、コミュニティー施設（三世代のふれあい館）、交通の便利な都市近郊地域、等を求めています。

これらの条件を考えて、第 1 回「菜園事業研究地」は 神奈川県厚木市 をご紹介いたします。